

## 木造阿弥陀如来立像 1 軀

### 木造阿弥陀如来立像

もくぞうあみだによらいりゅうぞう

### 分野／部門

有形文化財／美術工芸品〔彫刻〕

### 所有者

宗教法人 超心寺(ちょうしんじ)

### 所在地

大阪市天王寺区下寺町 1 丁目

### 紹介



### 木造阿弥陀如来立像(超心寺)

超心寺は下寺町の浄土宗寺院で、18 世紀始めの浄土宗寺院の台帳には、寛永 18 年(1641 年)に開山の善誉(ぜんよ)が没したことが記される。本尊像は像高 97.9 センチメートル、浅い彫り口による衣のひだ、浅い体の奥行は平安時代後期の優美な作風を示しているが、面長の面部の表情などには鎌倉彫刻に通じる印象があることから、平安時代後期の様式を踏まえつつ、13 世紀前半に制作された像と考えられる。寺町の浄土宗寺院に伝来する中世の希少な阿弥陀像のひとつである。